

# 高知市民図書館資料収集基準

高知市民図書館資料収集方針に基づき、高知市民図書館の資料を選定し、収集するに当たっての具体的な基準を以下のとおり定めるものとする。

## 第1章 資料選定の実務

### I はじめに

資料を選定するに当たっては、「高知市民図書館資料収集方針」を基本とする。

### II 選定資料の範囲

選定の対象とするのは、次の資料とする。

#### 1 図書

- (1) 一般図書（教養、娯楽、趣味、実用書、専門的図書）
- (2) 参考図書
- (3) 児童図書
- (4) マンガ
- (5) 外国語で書かれた資料
- (6) バリアフリー資料

#### 2 逐次刊行物

- (1) 新聞
- (2) 雑誌

#### 3 高知県関係資料

#### 4 視聴覚資料

#### 5 その他

### III 資料の収集方法

資料の収集は、購入又は寄贈によるものとし、以下のことに留意する。

#### 1 購入資料

市民のあらゆる情報要求に応えるために、以下のことに留意して資料を選定する。

- (1) 各現場の職員が実態に即した選定を行う。
- (2) リクエストには収集方針に照らして可能な範囲で応える。
- (3) 高額な資料については、館内職員で構成する図書選定委員会に図り、購入決定する。  
また、高知県立図書館等と協議しながら資料分担を図っていく。

#### 2 受贈資料

一般購入資料の収集方針、選定基準に準ずるものとする。

- (1) 一般資料の受贈は、本館・分館・分室など館別収集方針に沿って選定する。
- (2) 個人の出版物については、資料的価値や利用予測などを考慮して、個々に判断する。

- (3) 官公庁、各種団体には定期的に寄贈依頼を行う。特に逐次刊行物の欠号のないように注意する。

#### IV 資料の更新，書庫入れ基準

##### 1 基本的な考え

- (1) 開架資料は新鮮さを保つために、収容冊数、増加冊数を考慮しながら常時行うことを心がける。
- (2) 書庫入れすることによって蔵書構成にバランスを欠くことのないよう適時その主題の補充に努める。
- (3) 類書のない基本資料で、今後も利用が予測されるものについては買い替える。買替えのできないものは、製本をする。ただし、内容の新しさ、経済性を考慮する。

##### 2 更新，書庫入れの対象資料

- (1) 形態上使用に堪えない資料
  - ア 破損（切り取り，壊れなど）したもの
  - イ 汚損（汚い，書き込みなど）したもの
- (2) 利用価値が下がった資料
  - ア 定期的に刊行される資料で最新刊以前のもの（年鑑，白書など）
  - イ 出版年が古く利用の少ない資料
- (3) 上記を備えた複本

#### V 不用資料及び除籍資料，移籍資料決定の基準

市民の情報要求に応えるため、高知市民図書館が所蔵する資料を常に新鮮で有効な状態に維持・整備するとともに、資料の円滑な更新を行うための除籍に関する必要な事項を次のとおり定める。

##### 1 基本的な考え

- (1) 事象の変化により資料的価値が著しく減少した資料を除籍することにより、書架の有効利用を図り、常に質の高い新鮮な資料構成の維持に努める。
- (2) 長期間にわたり所在が確認できない資料を除籍することにより、現存する資料を正確に把握するとともに、必要な資料の補充を行い、適正な資料構成の維持に努める。
- (3) 蔵書構成を考慮し、資料の移籍等によって資料の有効活用を図る。

##### 2 除籍基準

除籍の対象資料は次のとおりとする。

- (1) 亡失によるもの
  - ア 災害及び不慮の事故によるもの
  - イ 現品弁償不能及び回収不能となったもの
  - ウ 蔵書点検等において所在不明となり調査してなお2年以上不明のもの
- (2) 汚損，破損によるもの

汚損、破損の程度が甚だしいもの。ただし、修理製本可能なものは除く。

(3) 資料の更新によるもの

ア 分館・分室・移動図書館の資料は、受け入れ後7年を経過したものは除籍の対象とする。

イ ただし、上記の資料は他館室への移籍に努力する。

(4) 不用と判断されるもの

複本、類書及び内容等で不用と判断されるもの

(5) 長期未返却等で10年間以上不明のもの

3 除籍対象外資料

次の資料は原則として除籍対象外とする。

(1) 各分野の基本図書と評価される資料（記述内容の新旧にかかわらず、各分野の基礎的又は歴史的価値を有するもの）

(2) 類書が他にないもの、又は極端に少ない分野の資料

(3) 絶版、その他の事情により再び収集することが困難でかつ有用な資料

## 第2章 共通選定基準

選定者は、豊かな心情と広い視野を持ち、公平・中正な態度で時代感覚にあった積極的な収集を行うことを基本とし、資料の選定に当たっては次の観点を念頭に置き行う。

1 選定基準における一般的観点

- (1) 多数の利用者の要求に応え得るもの
- (2) 現在及び将来において要求されるもの
- (3) 図書にあっては造本のしっかりしているもの
- (4) 適正な価格のもの
- (5) 収集方針、蔵書構成に見合ったもの

2 全般的な選定基準

- (1) 利用者の年齢層などを考慮し、その読書能力に応じたものを選定する。
- (2) 目前の興味だけでなく広い視野から、地域社会の要求を考える。
- (3) レファレンスに応えられるものを収集する。
- (4) 課題解決を支援する資料を選定する。
- (5) 正確さや新しさに留意し、一般書、児童書、専門書、実用書など同種の資料と比較して判定する。
- (6) できるだけ分かりやすい語句を用いた読みやすい文章のものを選定する。絵画・写真は分かりやすく正確であるかに留意する。
- (7) 読みやすい書体と活字の大きさに留意して選定する。また、挿画、図集、写真集は鮮明で濃淡が豊かな印刷のものを選定する。
- (8) 資料の形態上、貸出や保存に難があるものについては、選定に当たって慎重に判断する。

### 第3章 主題別選定基準

収集する資料の主題別の選定基準は次のとおりとし、各分野・分類における詳細な基準は別表1及び別表2のとおりとする。

#### 1 図書

##### (1) 一般図書（教養，娯楽，趣味，実用書，専門的図書）

ア 市民の情報要求に応え，課題解決の支援ができる資料，時代の流れに即応した資料をあらゆる分野において収集する。

イ 市民の生活や職業に役立つもので，分かりやすく信頼性のある実用書を収集する。また，あらゆる分野の入門書，概説書を揃える。

ウ 高度に専門的な資料は，収集の際，留意する。

エ 話題性のある図書，書評で取り上げられている図書，受賞した図書は積極的に収集する。

オ 歴史的，社会的に評価の定まっているもの（古典，名作等）を収集する。

カ 中高生を中心とした若者（ティーンズ）向けに様々な分野への興味関心を育てる資料を幅広く揃え，成人まで読書習慣を維持し，自己実現のために活用できる資料を収集する。

##### (2) 参考図書

ア 市民の調査・研究に役立つ参考図書を積極的に収集する。

イ 参考図書は，社会情勢に合わせて適宜更新する。

ウ 辞典・事典・便覧・ハンドブックは基本参考資料となるため，過度に専門的なものを除き，できるだけ収集する。

エ 年鑑・白書は各主題にわたり，基本的なものは幅広く収集する。

オ 統計資料は，国全体に及ぶものは積極的に収集する。また，特殊な主題を扱っている統計については，必要に応じて収集する。

##### (3) 児童図書

ア 乳幼児から小学生までのあらゆる興味に対応できるよう，幅広く資料を収集する。紙資料だけでなく，触る絵本や布絵本など多様な形態の資料も収集する。

イ 各分野の基本図書（評価の定まった資料），学習や研究の助けとなる図書は，漏れなくかつ十分な複本を揃える。また，基本図書は日常的に維持，更新して欠本の生じないようにし，品切れ，絶版となった基本図書は保存に努める。

ウ 絵本は子どもの知的，情緒的経験を広げ，想像力を養うものを中心に収集する。

エ 評価の定まった絵本作家の作品は，できるだけ漏れのないように収集し，可能な範囲で原書の絵本も収集する。また少ない点数でも，様々な国の絵本が揃うように努める。

オ 紙芝居は，画面の絵と語られる文が調和しているものを収集する。また，子どもの生活に密着した題材を扱ったもの，子どもの想像の世界を広げられるものを収集する。

カ 各国，各地方の昔話，神話，伝説を幅広く収集する。

キ ノンフィクションは、科学的な考え方やものの見方を育て、将来へ向けて子どもの視野を広げる資料を収集する。

ク 保育園、幼稚園、小学校、地域文庫などと連携しながら、読書活動の援助となるような図書を収集する。

#### (4) マンガ

ア 評価の定まった作品を主として、芸術性・時代性を兼ね備えた作品を収集する。

イ マンガは、原則完結しているものを対象として、収集する。

ウ マンガの文化や歴史などについて知ることのできる資料は、積極的に収集する。

エ 学習マンガ及び入門書的な役割を果たすマンガなど、多岐にわたる分野への理解に役立つものを収集する。

オ 活字を読むのが困難な場合でも、読書の楽しみを得られるものを収集する。

#### (5) 外国語で書かれた資料

利用者の要求を踏まえた言語のものを収集する。特に、日本を紹介した資料は積極的に収集する。

#### (6) バリアフリー資料

読書に障害のある人でも利用しやすい形態の資料を収集する。

### 2 逐次刊行物

逐次刊行物は高知県立図書館との資料提供と保存・管理の連携をとりながら収集する。

#### (1) 新聞

主要な日刊紙を中心に各種新聞を収集する。ただし、政党機関紙や宗教新聞に類するものは寄贈によるものとする。

#### (2) 雑誌

ア 雑誌は最新の情報が得られる資料なので、市民の暮らしや楽しみに役立つもの、調査研究に役立つものを積極的に幅広く収集する。

イ 各分野の基本的な雑誌は、収集漏れのないように留意する。

ウ 市民の趣向や流行に留意し、新鮮な雑誌を収集する。

### 3 高知県関係資料

高知県に関する次の資料を積極的に収集することを原則とする。なお、収集、保存、管理、提供についての具体的な取扱いは別途「高知県関係資料の取扱い要項」にて定める。

(1) 内容が高知県又は高知県人に関係するもの

(2) 高知県人又は高知県に深い関わりをもつ人が著者・訳者等となっているもの

(3) 高知市の行政資料

(4) 戦前の刊行で当館のみ所蔵する資料は貴重書とする。

#### 4 視聴覚資料

資料の特性を生かし、市民の文化、教養の向上に資すると認められる資料を収集する。  
特に以下の分野に留意する。

##### (1) 映像資料

ア 高知県及び地域に関する資料

イ 視覚及び視覚障害者等に配慮した音声ガイド、日本語字幕付き及び手話付き資料などのバリアフリー資料

##### (2) 録音資料

ア 高知県出身の作詞・作曲家、歌手、演奏家により作成された資料

イ 高知県及び地域に関する資料やその地域の音源を使用し、作成された資料

ウ 朗読、講演会、ラジオ番組の収録及び落語・漫談・浪曲等の視覚障害者や高齢者の鑑賞に配慮した資料

##### (3) その他

メディアの進展に照らして、その普及状況等を考慮し、適切な資料を収集する。

#### 5 その他

データベースやデジタル資料などは収集の際、市民のニーズや有用性を十分考慮する。

#### 附 則

- 1 この資料収集基準は、平成28年1月1日から施行する。
- 2 高知市民図書館図書館資料収書基準（1996年3月）は、廃止する。

別表1 (一般図書)

区分	分類	類別収集基準
総記	0類	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 百科事典，年鑑等は幅広く収集する。</li> <li>● 図書館に関する資料，書誌・目録類，関係機関に関する資料は積極的に収集する。</li> <li>● 情報科学は最新の情報を積極的に収集する。</li> </ul>
哲学	1類	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 哲学・思想関係は，なるべく平易に書かれ，かつ包括的なものを選ぶ。</li> <li>● 西洋，東洋の古典から現代までの哲学書を偏りなく収集する。現代を代表する哲学者の著作も積極的に収集する。</li> <li>● 代表的な宗教の研究書，経典，事典や参考図書を偏りなく収集する。</li> <li>● 評価の定まらない新興宗教は慎重に選定する。</li> <li>● 古典的な宗教家の著作や各宗教の聖人の伝記も収集する。</li> <li>● 心理学は専門的な著作のほかに，実用書も収集する。</li> <li>● 超心理学，心霊研究，易占の分野は，厳選して収集する。</li> </ul>
歴史	2類	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 歴史資料は，幅広い利用を考慮し，一般向けに書かれた歴史読物から入門書，啓蒙書，研究書，史料まで多様なレベルのものを収集する。</li> <li>● 各分野の基本書を体系的に収集する。</li> <li>● 歴史は学説や歴史観による対立があるので，それぞれの観点に立つ多様な資料を偏りなく収集する。</li> <li>● 人名辞典，人名録などレファレンスに役立つものを収集する。</li> <li>● 伝記は客観的なデータに基づいた資料を選定し，日本人，外国人を問わず幅広く収集する。</li> <li>● 地理，地誌は最新のデータに留意し収集する。</li> </ul>
社会科学	3類	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 現代の社会問題を取り扱った資料を積極的に収集する。</li> <li>● 平和，人権，社会福祉，薬害，障がい者問題に関する資料は積極的に収集する。</li> <li>● 政治学及び政治事情の関係資料は多様な観点のものを収集する。</li> <li>● 地方自治に関する諸問題を扱った資料を収集する。</li> <li>● 法律関係資料は，解説書，法令集，判例集等を法令の改廃に留意して収集し，市民生活に役立つ実用的なものも収集する。</li> <li>● 経済，経営，社会学関係資料は，入門書，概説書及び実用書の最新のものを収集する。</li> <li>● 南海地震や風水害に備え，防災，減災に役立つ資料は積極的に収集する。</li> <li>● 統計書は，信頼性の高いもの，資料的価値の高いものを収集する。</li> <li>● 教育関係資料は，教える側，学ぶ側，保護者やボランティアな</li> </ul>

社会科学	3類	<p>ど教育分野の資料を求める利用者のそれぞれの立場に立った資料の収集に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 民俗・伝説は、索引や出典に留意し収集する。</li> </ul>
自然科学	4類	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 市民が自然科学全般及び主要な個別分野の状況を概観できるような入門書、概説書を中心に収集する。</li> <li>● 最新の情報を提供できるよう留意し、最新の分野について分かりやすく書かれた本は積極的に収集する。</li> <li>● 自然科学の分野は、非常に細分化・専門化されているので、個別分野の高度な専門書は収集しない。</li> <li>● 医学、健康増進に資する資料は、利用者が正確な知識、情報を得られるものを幅広く収集する。</li> </ul>
技術	5類	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 科学技術は最新の情報を常に提供できるように留意し、最近の動向について、分かりやすく書かれた資料は積極的に収集する。</li> <li>● 高度で専門的な工学書は、利用の見込める資料のみ購入する。</li> <li>● エネルギー、環境問題については積極的に収集する。</li> <li>● 趣味や実用に役立つ資料は幅広く収集する。</li> <li>● 家政学は利用が多いので積極的に購入する。</li> <li>● 衣服・手芸・料理の分野では、利用者の要求に留意し、実用書を中心に収集する。</li> <li>● 住居、家庭衛生に関しては、独立した各分類に留意しながら積極的に収集する。</li> <li>● 育児や子育て支援に役立つ資料は、積極的に収集する。</li> </ul>
産業	6類	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地場産業及び観光等、産業振興に役立つ資料を積極的に収集する。特に、農業分野の資料は積極的に収集する。</li> <li>● ビジネス支援に役立つ資料を積極的に収集する。</li> <li>● 産業社会の新しい動向について書かれた資料は、積極的に収集する。</li> <li>● 趣味に役立つ資料（園芸、造園、ペットの飼い方など）は、幅広く収集する。</li> </ul>
芸術	7類	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 市民の教養・趣味・娯楽に役立つ資料を、鑑賞、研究と製作・実技との両面にわたり、幅広く収集する。</li> <li>● 美術全集、画集、写真集、工芸名品集は、基本的なものを中心にできるだけ幅広く収集する。ただし、極めて高価なものについては、慎重に判断する。</li> <li>● 趣味の分野は、入門書を中心に幅広く収集する。</li> <li>● 市民の趣向、流行に留意し、新しい分野についての情報も迅速に提供できるように努める。</li> <li>● スポーツは、各競技の基本書を中心に市民の健康増進に役立つ資料を収集する。</li> </ul>
言語	8類	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 世界各国の言語の辞書や学習書は、豊富に収集する。</li> </ul>



言語	8類	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 国語辞典は、基本的なものは漏れなく収集する。</li> <li>● 特殊辞典（類語、語源、古語、流行語など）も幅広く収集する。</li> <li>● 挨拶、スピーチ、手紙、論文は実用に役立つ資料を幅広く収集する。</li> <li>● 外国語の学習と実用に役立つ資料を選択的に収集する。</li> </ul>
文学	9類	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 各分野について、基本的な作品、作品研究、作家研究など豊富な資料を収集する。</li> <li>● 古典文学は評価の定まったものを偏りなく収集する。</li> <li>● 時事性・話題性のある作品は、積極的に収集する。</li> </ul>

別表2（児童図書）

区分	分類	類別収集基準
共通	0～8類	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 子どもに分かりやすく、正確な情報を記述したものを収集する。</li> <li>● 図版、写真、イラスト、索引などに留意して資料を収集する。</li> <li>● 事典類を中心に、しらべ学習や総合的な学習、教科学習、人権・平和学習に対応できる資料を収集する。</li> <li>● 子どもの旺盛な知識欲に応えられるよう、子どもの発達段階に応じて、幅広い多様なテーマの資料を収集する。</li> <li>● 子どもたちの趣向や流行に留意して収集する。</li> </ul>
文学	9類	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 子どもの発達段階に応じて豊かな想像力を養えるもの、子どもの視野を広げるものを中心に幅広く収集する。</li> <li>● 評価の定まった作家の作品は、積極的に収集、保存する。</li> <li>● 子どもに人気のある作品は、複本の収集を考慮する。</li> </ul>